

# 経済産業常任委員会資料

(平成21年5月21日)

## 項目

- 1 平成21年度経済・雇用振興キャビネットの進め方について  
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 1
- 2 まちなかビジネス創出支援事業の実施状況について  
【経済通商総室(経営支援チーム)】 …… 2
- 3 環日本海圏貨客船航路(日・韓・ロ)開設に係る現状等について  
【経済通商総室(通商物流チーム)】 ……(別紙)
- 4 地域雇用創造実現事業の事業構想採択について  
【雇用人材総室(人材育成確保チーム)】 …… 3
- 5 平成21年3月新規大学等卒業者の就職内定状況等について  
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】 …… 4
- 6 J T工場廃止の撤回等に係る要請について  
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 5
- 7 「とっとりバイオフィロンティア(仮称)に関する覚書」の調印について  
【産業振興総室(産学金官連携チーム)】 …… 7
- 8 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について  
【市場開拓局市場開拓室】 …… 8
- 9 鳥取大丸「食のみやこ鳥取県」県産品常設販売PRコーナー「とっとり美味広場」の設置について  
【市場開拓局市場開拓室】 …… 10

商工労働部

# 平成21年度経済・雇用振興キャビネットの進め方について

経済通商総室  
企画調査チーム

## 1 テーマ設定について

### (1) 考え方

- H20 テーマの継続議論の要望が強く、基本的にはH21年度もテーマを継続。
- 効果的な議論とするため、1回目のワーキンググループ(WG)でテーマの絞込(施策化検討の対象絞込)を実施。

注) 現時点では絞り込みは行っておらず、新委員を含めたWGで検討

#### <H20委員の主な意見>

- ・1年間では議論時間が短く、H21も引き続き議論を重ねていくことが重要
- ・その際、テーマをさらに絞り込んでの議論が必要

### (2) テーマ

| 地域 | 大テーマ                      |     | テーマ                                |
|----|---------------------------|-----|------------------------------------|
| 東部 | 鳥取自動車道開通を視野に入れた打って出る因幡の産業 | WG1 | 「打って出る因幡の製造業」に向けた人材育成の方策           |
|    |                           | WG2 | 商圏拡大方策、交流の活発化等の方策                  |
| 中部 | 農商工連携～豊富な農林水産資源を活用した産業振興～ | WG  | 中部の農を活性化させる農商工観連携の方策               |
| 西部 | 環日本海時代～対岸諸国との交流に向けた産業振興～  | WG1 | 対岸諸国からの受注を呼び込むための企業間連携・異業種交流を進める方策 |
|    |                           | WG2 | 対岸諸国からの観光客に対して魅力的な国際観光を進める方策       |

## 2 WG委員選任について

- WGあたりの委員数は6～8名程度。
- 基本的にH20委員に依頼し、委員数が6～8名となるよう調整。

#### <H20委員の主な意見>

- ・議論には5,6名必要(→2,3名の欠席を見込んで7,8名程度)
- ・委員間の共通認識が必要

## 3 今後のスケジュール

- 5～6月 委員の就任依頼、WGの開催(1～2回程度)
- 7月中旬 全体会の開催(講演、H21年度各WGの検討状況報告など)
- 8～12月 WGの開催(3～4回程度)

#### <H20委員の主な意見>

- ・WGは4～5回程度必要

### 【参考】平成20年度キャビネット総括

- 少人数WGでの検討は、議論が深まり好評。継続参加希望者が多数。  
(新規44事業、充実15事業、継続35事業、計94事業を施策化)

# まちなかビジネス創出支援事業の実施状況について

経済通商総室  
経営支援チーム

## 1 普及啓発セミナーの開催

県が推進する「まちなかビジネス創出支援スキーム」の実施に向け、施策のPR、事業の中核を担う「とっとりまちなかビジネスインキュベータ」の設立機運の醸成を目指して、普及啓発セミナーを開催しました。

- (1) テーマ 「まちなかビジネスのすすめ」～まちづくり会社にもみる創業支援の経営戦略～
- (2) 内容
  - ① 講演「㈱まちづくり長野の設立と今後」  
(㈱まちづくり長野タウンマネージャー 越原照夫氏)
  - ② 事例発表「㈱DARAZの経営理念・今後の展開について」
  - ③ 県の施策説明

### (3) 開催日・会場

| 区分   | 開催日      | 会場                  | 参加人数 |
|------|----------|---------------------|------|
| 東部会場 | 5月18日(月) | とりぎん文化会館・第4会議室      | 39人  |
| 西部会場 | 5月19日(火) | 米子コンベンションセンター・第3会議室 | 22人  |

### (4) 開催結果

- ㈱まちづくり長野の講演について、先進事例として大変参考になったという意見、民間事業者が主体的に取り組むことの必要性を感じた、などの意見があった。
- ㈱DARAZの事例紹介について、東部会場では同じ県内の取組として身近に感じられたという意見、西部会場では若者のパワーで米子が元気のあるまちになりそうだ、などの意見があった。
- 県の施策(まちなかビジネス創出支援事業)について、まちづくり会社の必要性を感じたという意見、県の支援は実態に即しており利用を期待したい、などの意見があった。

## 2 まちなかビジネス創出プランの募集

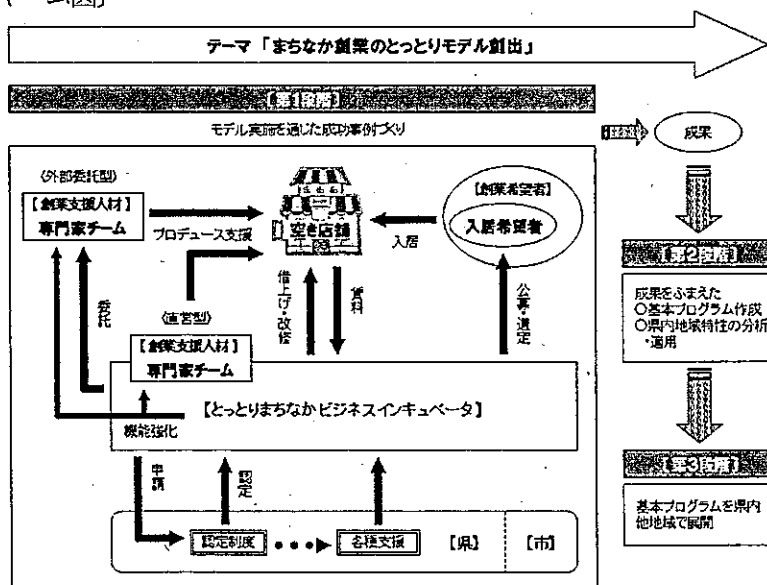
まちなかにおける創業支援の取組を行う民間事業者等から「まちなかビジネス創出プラン」を募集し、県の認定を受けた民間事業者等に対して、県が重点支援を行います。

◇ 募集期間(予定)： 5月下旬～6月下旬(1カ月間)

### 【参考】まちなかビジネス創出支援事業

県内商業の活性化を図るため、ビジネスインキュベータ(創業支援機関)、創業支援人材(店舗プロデュース等を実施)、行政の連携による中心市街地での成果重視型「まちなかビジネス創出スキーム」を構築し、モデル事業を通じて成功事例づくりと県内での普及を目指す。

【スキーム図】



# 地域雇用創造実現事業の事業構想採択について

雇用人材総室  
人材育成確保チーム

鳥取県地域雇用創造協議会が策定し、平成21年2月27日付けで国(厚生労働省)に提案を行った地域雇用創造実現事業の事業構想について、5月8日付けで採択されました。

## 1 事業の概要

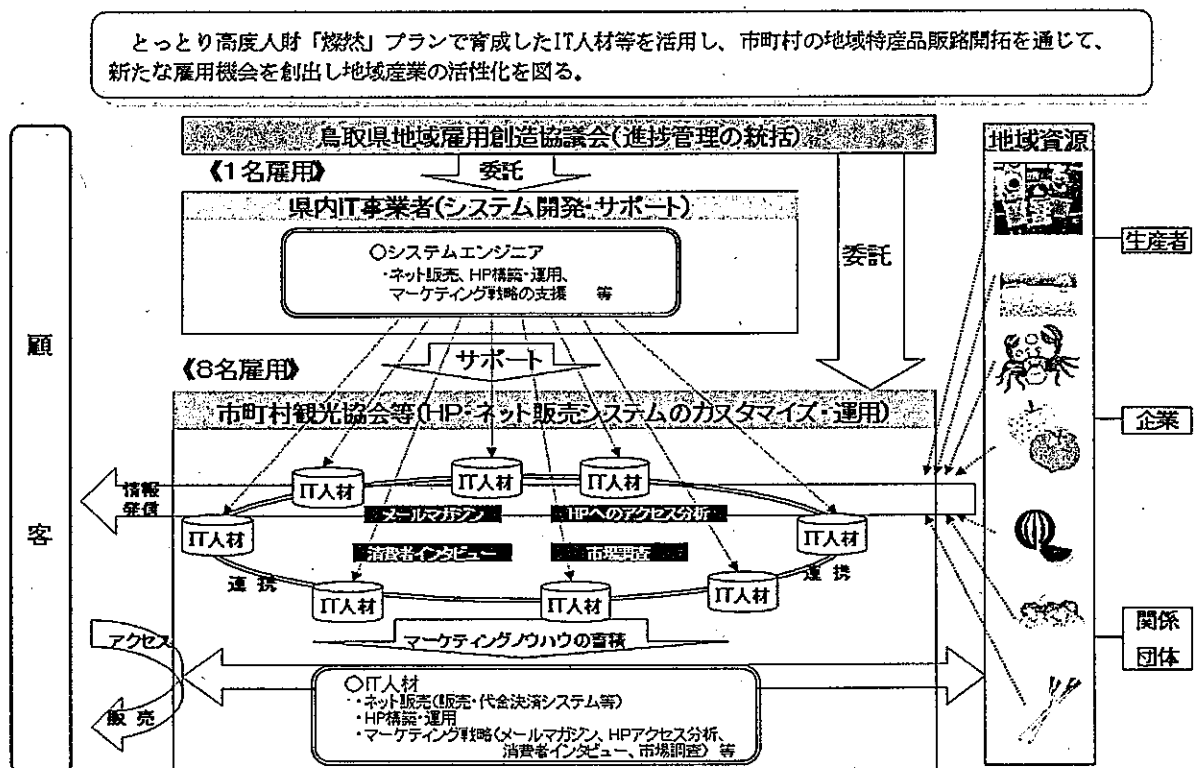
### (1) 国制度の概要

地域雇用創造推進事業(※)によって育成した人材等を活用して、地域の雇用機会を増大させる効果の見込まれる産業、経済の活性化等に資する事業の提案をコンテスト方式で審査し、効果の高いと認められる事業について、提案した協議会へ国が委託。 ※ 本県では「とっとり高度人材『燦然』プラン」

### (2) 事業構想の概要

ITを活用した特産品等の販路拡大意欲のある市町村観光協会等(8地域を想定)に対して、マーケティングやITを活用する内容の事業を委託し、とっとり高度人材『燦然』プランで育成したIT人材等を雇用し、独自のネット販売システム等を構築するとともに、相互に連携を図りながらシステムをブラッシュアップする。

## IT's Tottori Style推進プロジェクト



〔事業期間(予定)〕 平成21年7月～24年3月

〔事業規模〕 114,641千円

## 2 当面のスケジュール(予定)

- 6月 ・委託先の公募
- 7月～8月 ・委託先の決定
- 9月～11月 ・ネット販売システム・マーケティング戦略の企画
- 11月～12月 ・ネット販売システムの開発
- 1月～ ・ネット販売システム運用開始

## 平成21年3月新規大学等卒業者の就職内定状況等について

雇用人材総室  
雇用就業支援チーム

### 1 新規大学等卒業者の就職内定状況等（鳥取労働局調べ：平成21年3月末現在）

#### (1) 卒業者

・卒業者数は2,606人で、前年度(2,737人)に比べ131人(4.8%)減少。

#### (2) 就職希望者

・就職希望者(1,911人)は、卒業者数の減少に伴い、前年度(1,949人)に比べ1.9%減少したが、就職希望率は73.3%と前年度(71.2%)から2.1ポイント上昇。

#### (3) 内定状況

・就職内定者(1,759人)は、卒業者数の減少もあり、前年度(1,838人)に比べ79人(4.3%)減少。うち県内への就職内定者は624人で、前年度(695人)に比べ71人(10.2%)減少。  
・就職内定率は92.0%で、前年度(94.3%)から2.3ポイント減少。うち県内就職希望者の県内就職内定率は89.0%で、前年度(89.7%)から0.7ポイント減少。

(単位：人、%)

| 区分        | 卒業者数<br>A | 就職希望者数<br>B | 就職希望率<br>B/A | 就職内定者数<br>C | 就職内定率<br>C/B |
|-----------|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 総計        | 2,606     | 1,911       | 73.3(+2.1)   | 1,759       | 92.0(▲2.3)   |
| うち県内      | —         | 701         | —            | 624         | 89.0(▲0.7)   |
| 大学(2校)    | 1,668     | 1,103       | 66.1(+0.7)   | 1,028       | 93.2(▲2.6)   |
| うち県内      | —         | 197         | —            | 176         | 89.3(▲4.6)   |
| 専修学校(12校) | 415       | 394         | 94.9(+1.3)   | 344         | 87.3(▲3.1)   |
| うち県内      | —         | 309         | —            | 272         | 88.0(+1.4)   |

※総計は、無料職業紹介事業を行う短大、高専を含めた県内16校

### 2 就職支援施策

#### (1) とっとり就職フェア2009・5月実施状況

(単位：社、人)

| 開催日      | 会場            | 参加<br>企業 | 参加者   |       |       |      |      |       |
|----------|---------------|----------|-------|-------|-------|------|------|-------|
|          |               |          |       | 大学    | 短大等   | 短大等  | 短大等  | 一般    |
| 5月13日(水) | 米子コンベンションセンター | (81)     | (301) | (95)  | (62)  | (28) | (4)  | (112) |
|          |               | 52       | 319   | 99    | 76    | 22   | 8    | 114   |
| 5月14日(木) | 鳥取産業体育館       | (83)     | (424) | (171) | (131) | (17) | (8)  | (97)  |
|          |               | 51       | 432   | 162   | 126   | 43   | 6    | 95    |
| 5月15日(金) | 倉吉体育文化会館      | (40)     | (95)  | (29)  | (25)  | (8)  | (0)  | (33)  |
|          |               | 21       | 78    | 27    | 21    | 6    | 0    | 24    |
| 合計       |               | (204)    | (820) | (295) | (218) | (53) | (12) | (242) |
|          |               | 124      | 829   | 288   | 223   | 71   | 14   | 233   |

※上段( )内は昨年の数字

#### (2) その他就職支援策

県内3か所の若者仕事ぶらざにおいて、就職関連情報の提供、就職支援セミナーの開催、とっとり就職フェアの開催(今後、8月、2月に開催予定)等による就職支援を実施している。

## JT工場廃止の撤回等に係る要請について

産業振興総室  
企業立地推進チーム

日本たばこ産業株式会社（JT）は、4月30日（木）、国内たばこ工場（米子工場、盛岡工場、小田原工場）の廃止を発表しました。

これに対し5月12日（火）、県は関係自治体と共同でJTに対し、「工場廃止の撤回・凍結を含めあらゆる可能性を再度検討し、最低限、地域の雇用を確保すること」を強く要請しました。

また同日、JTの株式の過半数を有し、JTを監督する立場にある財務省に対しても、JTへの指導を要請しました。

### 1 JT工場廃止について

#### (1) 廃止工場の概要

|                     | 米子工場  | 盛岡工場                   | 小田原工場                 |
|---------------------|---|------------------------|-----------------------|
| 製造中止時期              | 2010年3月末                                    | 2010年3月末               | 2011年3月末              |
| 操業開始                | 1967年7月                                     | 1972年10月               | 1948年6月               |
| 年間製造数量<br>(2008年度)  | 約77億本                                       | 約66億本                  | 約43億本                 |
| 従業員数<br>(2009年4月現在) | 141名 (平均年齢 48.9歳)<br>〔うち鳥取県 104人<br>島根県 2人〕 | 122名                   | 151名                  |
| 工場敷地面積              | 74,214 m <sup>2</sup>                       | 141,678 m <sup>2</sup> | 78,175 m <sup>2</sup> |

#### (2) 廃止理由（JTの発表の要約）

国内たばこ市場において、高齢化の進展、喫煙と健康に関する意識の高まり、喫煙をめぐる規制の強化等の複合的要因を背景に、総需要の減少が継続しており、JTの国内たばこ事業量も年々減少している。

このような中、JTの国内たばこ事業は、競合他社との競争優位性の確保、お客様満足度の最大化へ向けた取り組みとともに、コスト効率性の高い事業運営体制の構築に務めており、当該3工場の廃止は、これらの取り組みの一環として、国内たばこ事業における競争力ある事業構造を構築することを目的に決定したものの。

#### 〔参考〕米子工場の関連会社

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 会社名  | 西日本プラントサービス株式会社 米子支店     |
| 本社   | 京都市伏見区                   |
| 業務内容 | 設備・機械の保全業務、清掃等の受託        |
| 株主   | JT (100%)                |
| 従業員数 | 87人〔うち鳥取県 79人<br>島根県 1人〕 |

※JTによると、関連会社も社内での配置転換が検討されることになるとのこと。

### 2 県の対応

#### (1) JT本社への要請

- ①日 時 5月12日（火）午前9時～9時40分  
②場 所 日本たばこ産業株式会社 本社（東京都港区 JTビル34階会議室）  
③訪 問 者

|                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 鳥取県知事 平井伸治 (ひらい しんじ) | 米子市長 野坂康夫 (のざか やすお)   |
| 岩手県知事 達増拓也 (たつぞ たくや) | 盛岡市長 谷藤裕明 (たにふじ ひろあき) |
| 神奈川県 (幹部職員)          | 小田原市長 加藤憲一 (かとう けんいち) |

- ④JT対応者 ・代表取締役副社長 山田良一 (やまだ りょういち)  
・常務執行役員 飯島謙二 (いいじま けんじ)  
・執行役員 千々岩良二 (ちぢいわりょうじ) 他

⑤ 結 果

◆要請のポイント

- ・各地域の雇用情勢、雇用確保の取り組み。
- ・各地域でJTが果たしてきた役割。(雇用・歴史・社会貢献)
- ・国が過半数以上出資の大企業としての責任。
- ・国、地方が全力で雇用確保に取り組んでいる中で、なぜこのタイミングなのか。
- ・関係自治体への事前協議もなく、当日結果だけを知らせてくるJTの姿勢。
- ・「撤回・凍結・他事業への転換」による雇用の確保。
- ・新事業展開には、関係自治体も惜しみなく協力。
- ・今後も協議の場を持ち続けたい。

◆JTの回答要旨【通り一遍で、前向きな回答は無し。】

- ・工場閉鎖は景気悪化によるものではなく、たばこ需要の減少による構造的な問題によるもの。(撤回は困難)
- ・上場企業として情報の扱いに慎重。
- ・社員対応はきちんとする。(配置転換、退職、再就職)

(2) 財務省等への要請

- ①要請先 財務大臣 与謝野 馨 (よさの かおる) 【不在、要請書提出のみ】  
財務副大臣 石田 真敏 (いしだ まさとし) 【面談】  
財務副大臣 竹下 亘 (たけした わたる) 【面談】

②訪問者

|                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 鳥取県知事 平井伸治 (ひらい しんじ) | 米子市長 野坂康夫 (のざか やすお)   |
| 岩手県 (幹部職員)           | 盛岡市 (幹部職員)            |
| 神奈川県 (幹部職員)          | 小田原市長 加藤憲一 (かとう けんいち) |

③結 果

両副大臣から、「地元の気持ちはよく分かる。JTへ話をしてみる。」とのコメントあり。

(3) 地元選出国會議員への協力依頼

要請に同行いただいた赤澤亮正 (あかざわ りょうせい) 衆議院議員の他、石破茂 (いしば しげる) 農林水産大臣、川上義博 (かわかみ よしひろ) 参議院議員、田村耕太郎 (たむら こうたろう) 参議院議員へ、協力をお願いした。

3 今後の対応

関係自治体と連携して、JTとの協議を継続。

## 「とっとりバイオフロンティア(仮称)に関する覚書」の調印について

産業振興総室  
産学金官連携チーム

染色体工学に関する研究開発及び高度技術者の育成等を通じて、県内にバイオ産業を創出することを目指すため、鳥取大学医学部内に拠点となる施設「とっとりバイオフロンティア(仮称)」の建設を計画していますが、この運営について、関係企業及び関係機関で覚書を締結する調印式を行いました。

### 1 調印式の概要

(1) 日 時 平成21年5月1日(金) 午後1時15分～2時30分

(2) 場 所 鳥取県知事公邸

(3) 調印者

- ・国立大学法人鳥取大学
- ・日本チャールス・リバー株式会社
- ・株式会社chromocenter(クロモセンター)
- ・財団法人鳥取県産業振興機構
- ・鳥取県
- ・オリエンタル酵母工業株式会社
- ・株式会社新日本科学
- ・地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
- ・米子市

### 2 覚書の主な内容

「とっとりバイオフロンティア」を拠点として新産業創出や県内産業の高付加価値化を目指すため、「研究開発」「人材育成」などについて、参加企業等が協力・支援・連携を行っていく。

※とっとりバイオフロンティア・・・染色体工学に関する研究開発及び高度技術者の育成等を通じて県内にバイオ産業を創出することを目指すため、鳥取大学米子キャンパス内に建設を予定する拠点施設

### 3 施設概要及び設置スケジュール(想定)

(1) 場 所 鳥取大学米子キャンパス内生命機能研究支援センター棟隣接地(米子市)

(2) 規模、建設費 延べ床面積2,000㎡(5階建)、建設費約15億円

※運営経費等を含め、基本計画を策定中

(建設について、国の追加経済対策事業の活用を検討)

(3) 主な施設

| 施設名       |     | 主な内容             | 入居予定者   |
|-----------|-----|------------------|---|
| 動物<br>実験室 | 実験室 | 疾患に合わせたマウスの開発    | ○企業<br>・オリエンタル酵母工業(株)<br>・日本チャールス・リバー(株)<br>・(株)新日本科学 等 |
|           | 飼育室 | 開発したマウスの飼育       |   |
| 貸し研究室     |     | 入居企業の研究開発        | ○鳥取大学<br>(染色体工学研究センター)                                  |
| 分析機器室     |     | 研究開発に伴う試験・計測機器利用 |   |
| 研修室、会議室   |     | 動物実験技術者等の人材育成    |   |
| 事務室       |     | 施設管理             |   |

(4) 設置スケジュール

| H21.4         | 5 | 6 | 7 | 8                 | 9 | 10              | 11 | 12 | H22.1 | 2  | 3 | H22年度 | H23.4             |
|---------------|---|---|---|-------------------|---|-----------------|----|----|-------|----|---|-------|-------------------|
| 基本計画<br>【策定中】 |   |   |   | 国事業<br>の募集<br>、採択 |   | 実施設計<br>(基本設計含) |    |    |       | 建設 |   |       | バイオフロンティア<br>オープン |



# 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

市場開拓室

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

## 1 アンテナショップ効果事例

- ・ 県内の菓子製造事業者がアンテナショップからのアドバイスを基に県産豆類の新商品を開発
- ・ 飲食サービス会社の社内誌へのアンテナショップ記事の掲載をきっかけに、県産品の使用を働きかけ
- ・ 県内の生産グループがアンテナショップレストラン用にイタリア野菜を栽培
- ・ 県内の中学生がアンテナショップで県産品PRや販売など体験学習

### 【中学生の感想（一部抜粋）】

「店内を見ていると、鳥取県にはこんなものもあったんだなと思って、新しい鳥取県をたくさん学べました。もっといろんな人に鳥取県のよいところを知ってもらいたいと思いました。」

「はじめはなかなか声が出なかったけれども、だんだん慣れて、お客様に県産品を買っていただくことで、達成感が味わえて嬉しかった。」

## 2 取組状況

### 〈店舗魅力・認知度向上〉

- ・ 入り口付近に飲食用のベンチを設置 一さらなる誘客につながった。
- ・ テレビ、雑誌等でアンテナショップを紹介
  - 「はなまるマーケット」(TBS系全国放送、月～金、8:30～)、  
「総力報道! THE NEWS」(TBS系関東ローカル、月～金、17:50～18:45)、  
「ひるおび」(TBS系全国放送、月～金、11:00～14:55)、  
日経トレンドィー6月号
- ・ JTB出版の「有楽町・銀座アンテナショップめぐり」に鳥取県アンテナショップを掲載(5/1～)
- ・ JAいなばによるらっきょうの漬け方講習会を開催予定(5/31)

### 〈販路開拓・販売促進〉

- ・ チャレンジ商品(県内の小規模事業者・新商品等で県が認定した商品)のテスト販売を開始
- ・ ゴールデンウィーク期間中(4/29～5/6)にソフトクリームの100円引きを実施
  - 通常の3～4倍の売上げ
- ・ 東京本部に量販店、外食産業企業等に対し県産品の情報提供、商品提案、商談を行う販路開拓マネージャーを配置(6/1～)

### 〈情報の伝達〉

- ・ BSSラジオで月1回(毎月第3火曜、10:10～10:15)、アンテナショップで収集した東京の旬の情報を放送(5/19～)



中学生の体験学習



飲食用ベンチ設置

### 3 運営状況

#### (1) 来客実績 (8/29(金)から4/30(木)まで)

| 区分  | 物 販 店 舗 |      |             |               | レ ス ト ラ ン |      |             |
|-----|---------|------|-------------|---------------|-----------|------|-------------|
|     | 買物客数    | 営業日数 | 売上高<br>(千円) | 催事売上高<br>(千円) | 来店客数      | 営業日数 | 売上高<br>(千円) |
| 8月  | 2,117名  | 3日   | 2,701       | 73            | 149名      | 2日   | 900         |
| 9月  | 8,404名  | 30日  | 10,176      | 227           | 2,321名    | 24日  | 6,265       |
| 10月 | 5,204名  | 31日  | 6,383       | 101           | 1,972名    | 26日  | 6,441       |
| 11月 | 4,657名  | 30日  | 6,244       | 145           | 1,943名    | 24日  | 7,504       |
| 12月 | 4,646名  | 30日  | 7,191       | 228           | 2,061名    | 25日  | 8,151       |
| 1月  | 3,653名  | 28日  | 4,844       | 0             | 1,713名    | 22日  | 7,162       |
| 2月  | 4,431名  | 28日  | 6,597       | 114           | 1,649名    | 23日  | 6,846       |
| 3月  | 4,550名  | 31日  | 6,093       | 0             | 1,689名    | 25日  | 6,823       |
| 4月  | 4,737名  | 30日  | 5,836       | 37            | 1,731名    | 25日  | 5,925       |
| 累計  | 42,399名 | 241日 | 56,065      | 925           | 15,228名   | 196日 | 56,017      |

注) 催事売上高は内数

#### (2) 4月の人気商品・メニュー

| 物 販 店 舗           |                         | レ ス ト ラ ン               |         |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|---------|
| 1位: 大山ソフトクリーム     | 380円                    | ランチ: 週替わりパスタセット         | 1,000円~ |
| 2位: 打吹公園だんご       | 900円 (10本)<br>500円 (5本) | ディナー: 月替わりトットリーネ<br>コース | 4,200円  |
| 3位: とうふちくわ (生)    | 231円                    |                         |         |
| 4位: あごちくわ (生)     | 310円                    |                         |         |
| 5位: 鬼太郎の好きなビーフカレー | 630円                    |                         |         |

# 鳥取大丸「食のみやこ鳥取県」県産品常設販売PRコーナー 「とっとり美味広場」の設置について

市場開拓室

県では、鳥取県の優れた食材・食品の発掘、「食のみやこ鳥取県」の魅力発信およびテストマーケティングや販路拡大を行うとともに、「鳥取・因幡の祭典」等の観光客へのPRを行うため、鳥取県商工会連合会に委託し、県産品が一堂に集まる専用コーナー「とっとり美味広場」を鳥取大丸に設けました。

## 1 「とっとり美味広場」の概要

### (1) 鳥取大丸地下1階食品売り場に販売スペースを設置

(180cm×90cmの台 5～6台分相当)

### (2) 販売する商品

- 「県民が選ぶ とっとり旨いもん100」(平成20年度に県民の皆様から食材、料理、加工食品等を募集して選考したもの)
- 「鳥取県ふるさと認証食品」(鳥取県内で製造された加工食品で鳥取県産原材料を使用、あるいは伝統的な製造方法や県独自の新技术を用いて作られている加工食品)
- 「とっとり自慢」(鳥取県内の各商工会が地域の原材料を生かし地域の文化や技術にこだわりをもって作られる食品で、鳥取県商工会連合会の認証を受けた食品) 等

## 2 出展企業・商品数

県内事業者・グループ 41社、67アイテム(農産品、水産品、調味料等)

|                |            |
|----------------|------------|
| ・農産品 33アイテム    | ・畜産品 1アイテム |
| ・水産品 14アイテム    | ・調味料 4アイテム |
| ・パン・菓子類 14アイテム | ・その他 1アイテム |

※季節商品や新商品の販売に合わせ順次入れ替えを行う予定

## 3 事業実施体制

### (1) 事業実施

鳥取県から事業実施を鳥取県商工会連合会に委託

### (2) ふるさと雇用再生特別基金の活用

ふるさと雇用再生特別基金を活用し、鳥取県商工会連合会が4名を新規雇用